

	申請者氏名	本 多 史 憲
論文名	Magnetic and superconducting properties of a pressure-induced superconductor CePd ₅ Al ₂	
国際会議名	International Conference on Strongly Correlated Electron Systems (SCES 2008)	
開催地	Buzios, Brazil	
参加期日	2008. 8. 17 - 8. 22	
<p>参加目的：</p> <p>強相関電子系に関する国際会議において、最近発見した圧力誘起超伝導体である CePd₅Al₂ の電子物性について発表し、<i>f</i> 電子系の圧力誘起超伝導について議論を行うとともに、強相関物質に関する最新の情報を得ることを目的とした。</p>		
<p>会議の状況：</p> <p>近年の SCES 会議に比べ参加者数は約 250 名と若干少なかったものの、26 ヶ国から第一線の研究者が参加しており、活発な議論が行われていた。人数が少なかったことが幸いして、これまでの同様の会議ではなかなかゆっくりと見るこのできなかったポスターセッションでもじっくりと議論を行うことができた。</p>		
<p>成果概要：</p> <p>CePd₅Al₂ の圧力誘起超伝導に関する本発表は会議初日午後の口頭発表に選ばれ、多くの参加者に発表を聴いていただくことができた。また関連物質である NpPd₅Al₂ や CePd₅Al₂ に関する口頭発表も他に 4 件ありこの分野における注目度は高かったといえる。発表後各国の研究者と研究結果について議論をすることができ、発表を行なった CePd₅Al₂ に関して共同研究の申し出もあったことは大きな収穫であった。</p> <p>会議では他にも CeCoIn₅ などの 115 化合物、また最近見つかった高温超伝導体として注目されている鉄系超伝導体 LaFeP(O,F) などに関する発表も多く、強相関電子系や新奇高温超伝導物質に関する最新の研究結果についても情報を得ることができた。総じてこの会議に参加した意義はとても大きかった。</p> <p>最後に、会議参加のための助成をいただいた望月基金に感謝いたします。</p>		